

★「ソーシャル・エンタープライズ」とは、社会的・地域的課題に事業の手法を用いて解決を図る「社会的企業」を意味します。

Contents

- 1 ▶ 総会開催報告と 2025 年度に向けて
- 2-3 ▶ 総会記念フォーラム報告
 - 第 1 部「地域で共に働く・暮らす」をめざして
- 4-5 ▶ 第 2 部 国際協同組合年の課題を受けとめる～誰も排除されない社会にむけた「一般的利益」を題材に～ 講師：田中夏子氏
- 6-7 ▶ 今後の「つながるかながわ」との関係性について
まちづくり会議 報告
- 8 ▶ ぼらん便り・編集後記

発行：特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブ協会

〒231-0006 横浜市中区南仲通 4-39 石橋ビル3F

TEL：045-212-1421 FAX：045-663-3137

Email：npo@wco-kyoukai.org

発行責任：理事長 上田祐子

発行部数：500 部



総会開催報告と 2025 年度に向けて

5月30日、NPO法人ワーカーズ・コレクティブ協会の第21回総会が開催されました。リアル参加と書面決議により、すべての議案が賛成多数で可決致しましたことをご報告させていただきます。

総会後のフォーラムでは、はたらっく（ざま、ひらつか、ゆがわら、あやせ）の取り組みの報告、その後で田中夏子氏による「国際協同組合年の課題を受けとめる～誰も排除されない社会にむけた『一般的利益』を題材に～」の講演がありました。「国連によって再び国際協同組合年が制定された意味とは？協同組合のコミュニティにおける存在意義、そして、『一般的利益』とは？」について国際協同組合アイデンティティの声明改定議論に基づいてお話しいただきました。その中でワーカーズ・コレクティブ協会は、中間支援組織として「一般的利益」への探求を進めてきた経過がある、今後「共有財」としてワーカーズ・コレクティブを社会の仕組みとして持続可能なものにしていけるか？について提起されました。

私たちは、2度目の国際協同組合年を契機として、引き続き人々の暮らし、生活、命をどう守るのか？さらには、待ったなしの少子化、超高齢化、気候変動、戦争の長期化など、次の時代をどう創造していくのか？私たちワーカーズ・コレクティブや「非営利・協同」の運動・事業を通して、真に持続可能な世界に向かうための社会の変革の機としていく責任があるのではないのでしょうか？

昨年7月に（一社）市民連帯経済つながるかながわを設立しました。2025年度、協会は「つながるかながわ」との一体的運営を行い、協会の活動・事業を「つながるかながわ」へと移管するため自治体との協議、組織改革、人材育成を並行し進めて参ります。

（理事長 上田 祐子）

